

Mylcを使った各種評価を、どこでも手軽に。

評価用キット <研究用>

Mylc ELISA (human IL-10 IL-12) Kit

評価を始めたから、翌日には結果が出る。
このスピード感が研究開発を大きく推進します。

精度と再現性に優れたMylc細胞が使える評価キット。

評価内容に最適な条件設定をあらかじめ済ませた最適な機材が一式セットになっています。

慣れない細胞を用いての評価は大変ですが、あらかじめ条件設定されたキットなので、すぐに評価が始まります。

評価物質添加後わずか24時間で結果が得られ、研究開発の評価時間やコストを大幅に削減します。

1キットでIL-10の測定が可能です。IL-12p70は別途測定キットをご購入下さい。

Mylc ELISA (human IL-10, IL-12) キット

条件設定済みだから、開けたらすぐ作業を開始できます。



ELISA測定用

POINT
1

高品質評価を手軽に実現

大量で均質なMylc細胞を、評価条件などの面倒な設定なく、手軽に評価に使用できます。

POINT
2

複雑な条件設定は一切不要

評価に最適な条件設定が済んだ状態で届くので、すぐに評価にかかれます。

POINT
3

オールインワンですぐ始められる

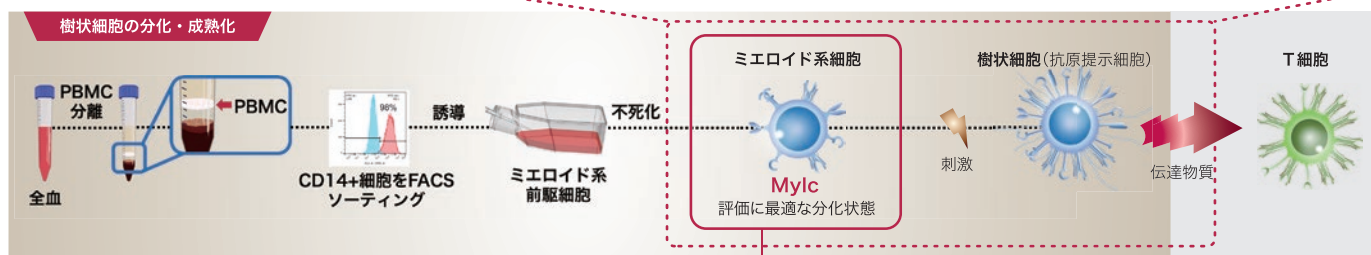
血球細胞から測定試薬まで、評価に必要なものをセット。開けてすぐ評価を始められます。

評価原理

Mylcに評価対象を添加し、産生される伝達物質(IL-10, IL-12)を定量的に測定します。

評価物質を添加して24時間で、刺激性の度合いが数値で評価でき、機能が判断できます。

Mylcを分化誘導した樹状細胞に評価物質を添加すると、IL-10 IL-12など様々なサイトカインを産生します。



同一の遺伝子情報を持つ均質な血球

最適な分化段階を正確にコントロール

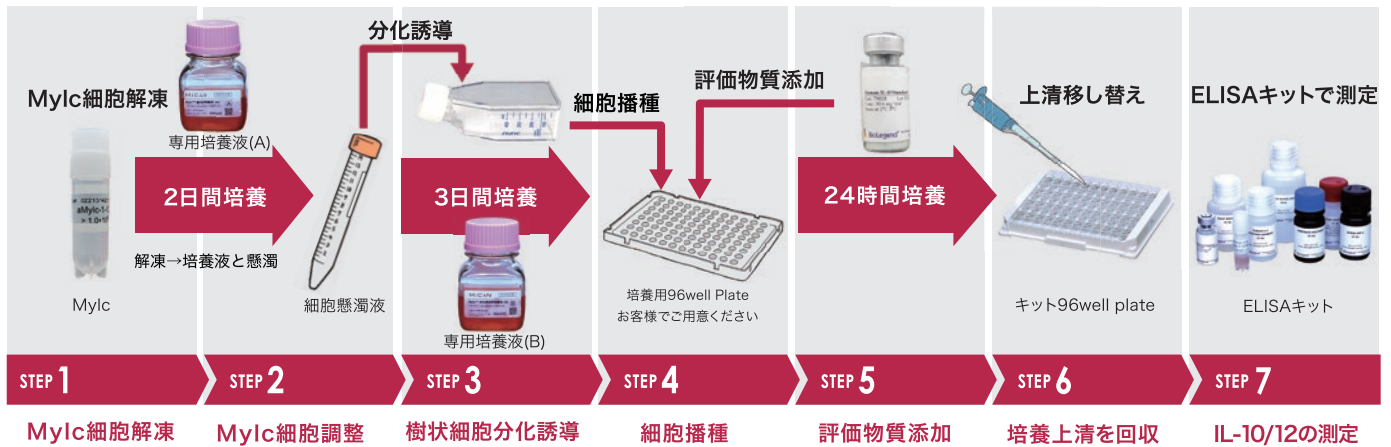
大量・安定的な生産・供給が可能

ラボで作製する血球のため、評価に適した状態(同じ遺伝子情報・細胞状態)をいつでも再現でき、評価の正確さや応用性が飛躍的に向上しています。

高い再生医療技術と製品管理により、繊細な分化段階(成熟度)を自在にコントロール。精度の高い研究・評価が可能です。

理想的な状態の血球をいつでも必要量入手可能。研究開発や効能評価を滞りなく実施でき、開発のスピードアップが実現できます。

評価の手順

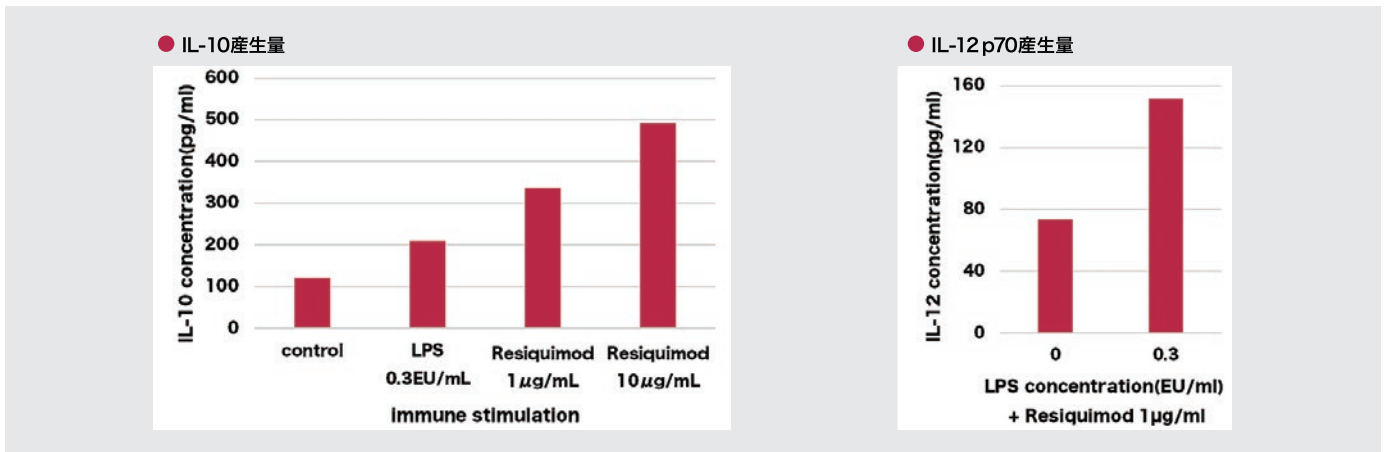


ウォーターバスにバイアルを浸し細胞を解凍します。 遠心分離洗浄後、専用培養液に細胞を懸濁させます。 専用培地を用いて Mylc 細胞を樹状細胞へ分化誘導します。 お手持ちの96well plateに一定数細胞を播種します。 評価対象とコントロール物質を添加し24時間培養します。 各wellの培養上清を取り、キットの96wellに移します。 ELISAキット添付の方法で呈色反応を測定します。

樹状細胞を用いた評価は煩雑ですが、Mylc細胞を使用することで、抗炎症性サイトカイン評価が安定に再現よく実施できます。

IL-10とIL-12 p70産生試験

発熱物質(LPS)および Resiquimodを添加し、IL-10とIL-12p70産生量を測定。(pg/mlで記載)
Mylcから分化誘導した樹状細胞は物質の添加でIL-10及びIL-12p70が産生される結果となりました。



IL-12p70産生量はセルフコートのHuman IL-12(p70)ELISA MAX Deluxe Set Cat. No. 4317041による結果です。

参考文献：Differential Production of IL-23 and IL-12 by Myeloid Dendritic Cells in Response to TLR Agonists
The Journal of Immunology, 2008, 181:5120-5127

キット概要

血 球 細 胞：Mylc細胞(保存培養液で凍結、スクリーバイアル1本)
専用培養液(A)：Mylc維持専用培養液(冷凍製品、100mlボトル1本)
専用培養液(B)：Mylc分化誘導専用培養液(冷凍製品、100mlボトル1本)
刺 激 剤：コントロール刺激用Resiquimod溶液(冷蔵、バイアル1本)
測 定 試 薬：上清中産生IL-10測定用ELISAキット
培養用フラスコ：T25フラスコ2点

※以下の機器・用具はお客様でご用意ください。
滅菌遠心チューブ / ピペットおよびピペットチップ類 / 培養用96well-plate
遠心機、CO₂インキュベーター / その他個別に必要な器材・用具

京都大学との 共同研究ラボで評価・研究

京都大学が、シーズ及び知的財産を活用した新事業創出を目指す「京大桂ベンチャープラザ」に本社および研究ラボを構えています。

*正式名称：京都大学連携型起業家育成施設

●ウィルス研究用無刺激樹状細胞(第2号製品)の特許出願 ●京都産業21「エコニック・ガーデニング事業」選出
●京都商工会議所「知恵の経営」選出(2018年) ●大阪大学VC等シリーズA 1,27億円調達(2019年)



マイキャン・テクノロジーズ 株式会社

〒615-8245 京都市西京区御陵大原1-36 京大桂ベンチャープラザ

☎ 075-381-3008

🌐 <http://micantechnologies.com>

✉ info2@micantechnologies.com **MiCAN** Technologies